

## (資料1) 基本理念、目指すべき方向、目標設定

### 1 基本理念

上下水道事業は、公衆衛生の向上と生活環境の改善を使命とし、安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、公共用水域の水質保全などに努めてきました。

上下水道は、市民生活や経済活動に必要不可欠なライフラインであり、これらは、長い年月をかけて先人たちが築き上げてきた貴重な財産です。

しかし、今後、施設の老朽化に伴う更新費用の増大や人口減少の進行による水需要の低下に伴う水道料金・下水道使用料の減少など、厳しい経営環境が想定される中、近年、多発している自然災害への対策など多くの課題を抱えています。

これらの課題に対処しながら、市民に信頼される公営企業として、上下水道の機能を次世代に引き継いでいかなければなりません。

このようなことから、本ビジョンを推進するうえでの基本理念を以下のように定めます。

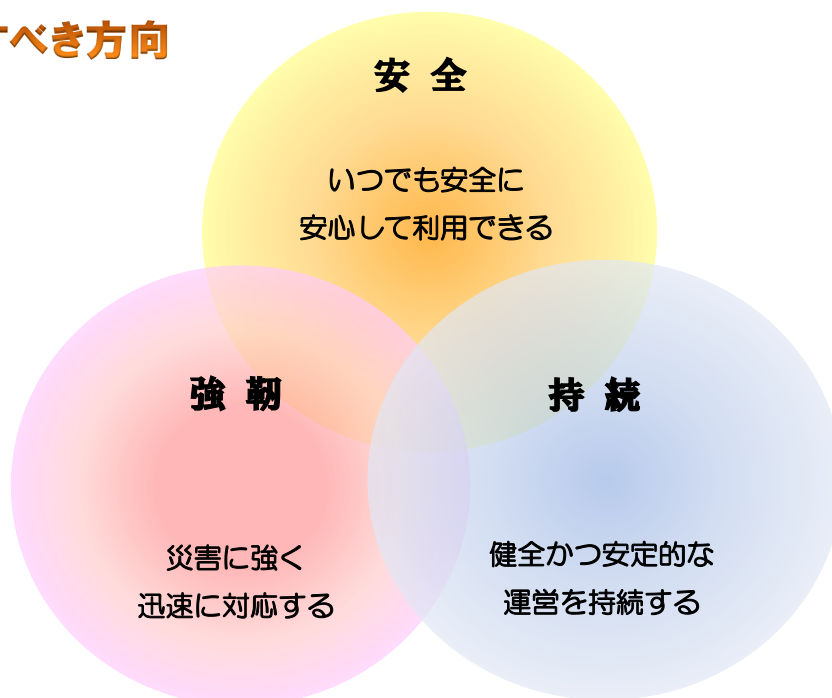
### 基本理念

未来につなぐ信頼される上下水道

### 2 目指すべき方向

基本理念に基づき、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの視点から、本ビジョンの目指すべき方向を以下のとおり設定し、今後の施策を展開していきます。

### 目指すべき方向



### 3 目標設定

基本理念の具現化を図るため、目標値を以下のように定めます。

#### 目標値

##### 【水道事業】

指標名	基準値（基準年）	目標値（R11）
水道管路の耐震適合率 ※1	82.8%（H30）	90.0%
有収率 ※2	90.6%（H30）	90.8%

##### 【下水道事業】

指標名	基準値（基準年）	目標値（R11）
汚水整備率 ※3	99.0%（H30）	99.2%
雨水整備率 ※4	71.4%（H30）	76.3%

#### (参考) おびひろ上下水道ビジョン 2010 目標推進状況

##### 【水道事業】

指標名	基準値（基準年）	平成30年度	目標値（H31）
水道管路の近代化率 ※5	78.9%（H19）	91.0%	89.7%
有収率	90.6%（H19）	90.6%	90.6%

##### 【下水道事業】

指標名	基準値（基準年）	平成30年度	目標値（H31）
汚水整備率	97.9%（H19）	99.0%	98.8%
雨水整備率	65.0%（H19）	71.4%	71.3%

※1：水道管路の耐震適合率=（国が示す耐震基準を満たした水道管路延長÷全管路延長）×100

※2：有収率=（有収水量÷総配水量）×100

※3：汚水整備率=（汚水整備面積÷認可区域面積）×100

※4：雨水整備率=（雨水整備面積÷雨水整備必要面積）×100

※5：水道管路の近代化率=〔ダクタイル鋳鉄管+鋼管〕÷全管路延長 } ×100